

2011

ACTIVITY REPORT

The Great East Japan Earthquake

東日本大震災被災者支援活動報告書
(2011年3月～2012年4月)



全体概要

2011年3月11日に発生した東日本大震災および津波に被災された皆様へ、
謹んでお見舞いを申し上げます。

このたびの災害緊急支援におきましては、支援者の皆様のご協力によって、迅速かつ柔軟に緊急支援を行うことができました。また、支援活動にご協力くださる過程で、支援者の皆様、そして、被災された皆様お一人お一人と、復興に向けより良い信頼関係を築くことができました。緊急支援にご協力くださいました支援者の皆様、復興支援活動にご協力いただいている東北の皆様、そして本部、被災地でのサポート、励ましのメッセージやご寄付をおよせくださった皆様には、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

これからの支援活動では、復興に向けた数々の活動を実施してまいります。これには、JENを支援して下さる皆様のお力が必要です。JENは、このプロセスを、東北の人々、そして支援者の皆様と共に歩んでゆきたいと考えています。引き続き、復興支援活動へのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

緊急支援

3月13日に開始した緊急支援は、津波により避難を余儀なくされた人びとへ、物資を配布させていただくことから始まりました。必要な物を必要数用意することのみならず、日々変化する状況に迅速に柔軟に対応するために、広く一般市民の皆様からも物資を募りました。必要なアイテムを週替わりで呼びかけ、5月末までの2か月半の間に国内外2,336名の市民の皆様にご協力いただきました。また、生活再建の第一歩となる仮設住宅での生活が始まることに伴い、入居したその瞬間から、人びとが少しでも安心した暮らしを営めるよう、全戸を対象に日用品70アイテムを配布させていただきました。

3月15日には炊き出しボランティアの派遣を開始しました。日を追うごとに、避難所を離れ自宅に戻り生活を再スタートする方の数が増えました。しかし、台所のあった一階は津波により破壊されていることが多く、料理はできません。そこで、7月22日までの4ヶ月間、市内2カ

所で継続して炊き出しを提供させていただきました。一方、4月19日には、ボランティア受入れの拠点を設置しました。これに伴い、急務であった泥だしボランティアの派遣をはじめることができました。毎日20名を受入れ、拠点から徒歩圏内を中心に個人宅や公共のインフラ施設の汚泥除去を行いました。依頼された方の中には、事業再開を願う小規模事業主の方がいらっしゃいました。被災の規模は甚大で、なにかから始めればよいか、目処がたっていない方がほとんどでした。そこで、ボランティアの力で社屋の清掃を行い、これと並行して事業再開のきっかけとなりうるトラックなどの車両を廃棄物処理業の方に貸与させていただきました。こうして、生業の復旧復興に貢献させていただきました。

また、長引く避難所での暮らしを余儀なくされている被災者の皆様へ、マッサージやヘアカット、サッカー教室、コンサート、体操教室など、子どもから大人までを対象に、心のケアの支援を実施させていただきました。

1 | コミュニティ再建支援

復興支援

津波によって、人びとの暮らしは一変してしまいました。JENでは、復興に向けて歩み始められた人びとが暮らす新しい環境がより住みやすくなることを願い、コミュニティに根差した支援活動を行いました。

① コミュニティ・カフェ

4月末、炊き出しを提供させていただいていた場所に、地域住民の皆様の協力を得て「コミュニティ・カフェ」を設置、その運営を支援させていただきました。4～5月は、弁護士相談やヘアカットなどのサービスを提供させていただきました。炊き出しの提供を終えるにあたり、住民の皆様と話し合いを重ね、憩いの場として引き続き活用することができました。そして、夏休みには子どもたちへの補習を、平日は、女性が参加できる手芸教室などの活動も提供させていただきました。また、地域の復興のためのワークショップを定期的に開催し、皆様に参加していただきました。



② コミュニティ・スペース

石巻市内131か所に分散、設置された仮設住宅(団地)には、移住を余儀なくされた6,890世帯が暮らし続けておられます。新しい生活が始まったものの、隣人同士の出身地域が異なるために、お互いを知りあうきっかけづくりが最重要課題でした。そこで、支援が届いていなかった13の団地にて、「お茶っこのみ」という寄り合いを開催し、さらに、自治会の創設を支援させて頂くことにより、コミュニティとして安心して暮らせる環境づくりをサポートさせていただきました。

2 | 生計回復支援

牡鹿半島には33の浜があります。石巻市の基幹産業は漁業であり、牡鹿半島は養殖と漁業で世界に名高い地域です。しかし、津波によって、養殖と漁を行うための道具の多くが流されてしまいました。一日も早く仕事に復帰したい、と願う人びとと話し合いを重ね、地域の復興に向けた支援活動を行いました。

① 漁業復興

漁業を生業とされている人びとへ、フォークリフト、ウィンチ、スカイトラック、漁網などの漁具を配布させていただきました。その中でも、漁網を作るためのロープや漁網原材料の配布では、ベテランの方から若い漁師さんが漁網作りを習うという関係が生まれました。また、浜の復興を願う住民の皆さんが中心となり、「浜の復興プラン」を作るワークショップを開催しています。



② 仮設店舗設置

半島の最南端、鮎川地区では、津波前、約50の商店が人びとの暮らしを支えてきました。津波によりすべての商店が流出してしまいましたが、商店を営んでいらっしゃった方々の営業再開を望む強いご意志を後押しするために、16店舗が入居できる仮設商店街を設置させていただきました。この商店街に人びとが集い、やがて地域の活性化に繋がることを願っています。



3 | ボランティア受入れ

復興にむけた支援活動が始まるとともに、汚だしボランティアへのニーズが減りました。その一方で、復興にむけた取り組みへの人手のニーズが増加しました。小学校の運動会のお手伝いや、お祭りなど、地域の行事へのお手伝いははじめ、特に、基幹産業である漁業の復興に向けて、滞っていた作業への人手のニーズが急増しました。JENでは、継続してボランティアを派遣し、主に漁業復興支援の一環として、漁業を生業とされる人びとが必要とされている「人手」のサポートを担っていただきました。

4 | 心のケア

コミュニティ再建や生計回復のための支援活動を行う傍ら、心の復興のきっかけとなるリクリエーション活動を開催させていただきました。専門家による数々のセラピーの他、仮設住宅の集会所での料理教室や、季節感のある手芸教室、また、ピアニストをコミュニティ・カフェやスペースに招き、人びとが集い、安らげる環境づくりを心がけました。



今後の活動方針

新しい生活環境において、人びとが安心して生活を送れるよう、JENでは、コミュニティの再建と生業の復興を中心に、引き続き支援活動を届けて参ります。

事業参加者数
2011年3月11日～
2012年4月30日

206,264

炊き出し

38,666

避難所運営

2,600

生計回復

69,524

物資配布

42,183

コミュニティ形成

36,993

心のケア

9,257

ボランティア派遣

7,041

事業名	参加者計 ／事業	事業内容	事業 参加者数	地域
炊き出し	38,666	避難者・在宅被災者への炊き出し	38,666	仙台市(宮城野区)石巻市(上釜地区、鹿妻地区、渡波地区)
避難所運営	2,600	避難所運営のサポート	2,600	湊小学校
生計回復	69,524	がれき撤去用車輛29台の貸与	36,964	石巻市内廃棄物処理業者
		仮設店舗設置と運営サポート	5,040	石巻市鮎川浜
		漁具の配布	27,520	宮城県漁業協同組合石巻地区(東部支所、前網支所、鮫浦支所、谷川支所、泊支所、寄磯支所、表浜支所、北上町十三浜支所、佐須浜およびその周辺の浜)
物資配布	42,183	仮設住宅避難者への生活物資配布	17,914	石巻市内仮設住宅全131団地(6,890世帯)
		野菜配布	283	東浜(牡鹿)地域
		衣料配布	5,582	・石巻市内(湊地域、渡波地域、牡鹿地域、雄勝地域などの避難所、在宅避難地域の物資配給拠点13か所) ・東松島市内(避難所2か所)
		JEN支援者からの物資・および灯油配布	2,336	いわき市、仙台市、多賀城市、石巻市内全域および気仙沼市の一部避難所へ
コミュニティ形成	36,993	みなし仮設住宅への暖房器具配布	16,068	石巻市、仙台市など(6,180世帯)
		仮設住宅団地コミュニティ支援	13,722	仮設住宅団地25か所(※)
		コミュニティ・カフェ	17,271	上釜地区、鹿妻地区、黄金浜地区
		宮城県漁業協同組合女性部活動再開のための支援活動	6,000	唐桑支所、気仙沼地区支所大島、志津川支所、志津川支所戸倉(他、対象の16支所は5月以降に事業開始)
心のケア	9,257	避難所でのマッサージ、ヘアカット、エステなどの提供	4,462	稲井公民館、渡波小学校、渡波中学校、湊小学校、湊中学校、青葉中学校、石巻中学校、門脇小学校、門脇中学校、みずほ幼稚園、河南勤労者体育センター(避難所)、蛇田小学校、中里小学校、万石浦中学校、東浜小学校、萩浜小学校など全17か所
		サッカー教室	300	鹿妻地区
		体操教室	182	飯野川高校(間借り中の船越小学校を含む)
		ピアノコンサート	151	上釜地区、鹿妻地区、仮設南境第7団地、仮設大森団地、萩浜小学校、仮設天ヶ沢団地(気仙沼)
		楽器を小・中・高校生へ	3,811	門脇小学校、湊第二小学校、釜小学校、渡波小学校、貞山小学校、開北小学校、大街道小学校、船越小学校、相川小学校、谷川小学校、住吉中学校、湊中学校、渡波中学校、大川中学校、山下中学校、石巻女子商業高等学校
ボランティア派遣	7,041	楽器を石巻広域消防音楽隊へ	351	石巻市内
		ボランティア参加者数	7,041	石巻市内全域

(※) 仮設住宅団地
大原団地、大原中田団地、南境第4団地、南境第7団地、三反走団地、三反走第2団地、押切沼団地、柏木団地、東北電子団地、町北第1団地、町北第2団地、町北第3団地、町北第4団地、新田団地、追波川河川団地、しらさぎ台団地、糠塚団地、糠塚前団地、大森第1団地、大森第2団地、大森第3団地、大森第4団地、追波川多目的団地、旭化成PD団地 ほか



企業との協働のご紹介

三井物産株式会社による社員ボランティア派遣

昨年5月13日、三井物産株式会社による役職員ボランティア派遣プログラムが開始されました。それから約14ヶ月（2012年7月現在）、同プログラムにご参加くださったグループ会社を含む役職員の数は延べ700名を超えました。瓦礫撤去、家屋・校舎・側溝などの清掃、漁業支援、仮設住宅や地域の住民との交流や生活支援など、折々の現地ニーズに対応してくださり、一連の活動を通じて、地域の住民の皆さんの自立へ向かう最初のステップを後押ししていただきました。本格的な復興へ向かう2012年も、引き続き同プログラムを継続してまいります。



シルク・ドゥ・ソレイユ®による体操教室

6月、日本でのショーに出演中のブラジル、ロシア、アメリカなど海外出身のアーティストとスタッフ10名が、数少ない休暇を利用し日帰りで石巻を訪問、市内の高校に通う生徒と、この高校に間借りし再開した小学校の児童を対象に、フィジカルセラピーを実施しました。この体操教室を振り返り、参加した高校の先生は、「生徒は被災地域から通っていますが、我が校は校舎が無事でしたので、今まで支援が届くことはありませんでした。今回の体操教室では、震災以後ふさがちだった生徒の笑顔を久しぶりに見ることが出来て、とてもうれしく思う」と話していただきました。

株式会社光文社『STORY』『美ST』によるリラクゼーションの支援

震災直後の4月より10月まで（悪天候により9月はキャンセル）月に1回（計6回）、モデル、ヘアスタイリストやエステティシャンらとともに、石巻市内の避難所や仮設住宅を訪問。ファッションやビューティの力で、現地の人々を支えていただきました。また、街が緊急から復旧・復興へと変化する半年の間、現地の人々の声を誌面で伝えてくださったことで、読者の方が被災地の現状を知り、現地へ赴かなくとも復旧・復興にたずさわっていただくことができました。現在は、チャリティ特集号で読者の方からお預かりしたご寄付により、収入創出事業をご支援いただいております。



ご協力いただいた企業・団体・個人の皆さま

〈日本国内〉（五十音順・敬称略抜粋）

アイリオ生命保険株式会社／株式会社ALMACREATIONS／Eastern Mountain Planning, Inc／岩塚製菓株式会社／MBI同窓会 事務局／株式会社オライリージャパン／カインダストリーズ株式会社／株式会社キトー／一般財団法人 熊本ひまわり財団／株式会社グリーン／株式会社講談社 GLAMOROUS編集部／幸福会ヤマギシ会本部／株式会社光文社 STORY・美ST編集部／株式会社光文社 VERY編集部／特定非営利活動法人国際協力NGOセンター／「心を織りなす氷上の世界」実行委員会／小嶋歳晴／Santa Fe School for the Arts and Sciences／学校法人品川女子学院／Think the Earth プロジェクト／Jewish Community of Japan／財団法人新日本宗教団体連合会／積水化学工業株式会社／ゼニア ジャパン株式会社／第一カッター興業株式会社／株式会社 鉤津製作所／株式会社知財翻訳研究所／チャリティーママ義援金プロジェクト／株式会社ディスカバー・トゥエンティワン／株式会社東芝／株式会社ダスキン龍ヶ崎／Twitter Japan KK／株式会社ダウンゴ／習志野自衛隊／日興アセットマネジメント株式会社／ニフティ株式会社／日本郵船株式会社 歴史博物館／日本ロレアル株式会社／日本ロレアル株式会社 ラグジュアリ プロダクツ事業本部 ランコム事業部／パナソニック電工労働組合 Hunion社会貢献クラブ／特定非営利活動法人パブリックリソースセンター／株式会社ビームス／フィデリティ投信株式会社／フェデラル エクスプレス(United Way Worldwide)／福沢機械株式会社／有限会社 豊電業社／文教大／文教ボランティアズ／三井物産株式会社／一般財団法人MUDEF／株式会社ラ・フルティエール・ジャポン／UBS証券株式会社／UBS社員有志一同／株式会社 ユニクロ／立正佼成会 一食平和基金事務局

〈海外〉（アルファベット順・敬称略抜粋）

Arbeiter-Samariter-Bund Deutschland e.V. / B J TRADING SPRL / CAMERA NAZIONALE DELLA MODA ITALIANA / COFACE TRADE AID / Ermenegildo Zegna Holditalia S.p.A. / FERRARIS FRANCO / FONDAZIONE ZEGNA / GlobalGiving Foundation / GlobalGiving UK / International Rescue Committee / Prudential Foundation / Real Medicine Foundation / SIX SENSES MAURITIUS LTD / The American Jewish Joint Distribution Committee / UBS AG HONG KONG / United Nations Staff Relief Committee for the Victims of Earthquake and Tsunami in Japan / Universite Catholique Oue / UNOG Staff Coordinating Council / WP LAVORI IN CORSO SRL / Young ConnectionFERRARIS FRANCO

東日本大震災復興支援 収支計算書

2011年3月11日から2012年4月30日

収入

	単位：円
国内外からの寄付、海外からの助成金	966,726,002
国内の助成金	728,747,322
計	1,695,473,324

支出

	単位：円
緊急期のニーズに応じた生活必需品の配布	3,170,379
がれき撤去を行う地域事業への支援	110,911,154
仮設住宅への日常生活品配布	371,791,873
みなし仮設住宅への暖房器具配布	145,991,914
ボランティア受入 計	27,280,668
〃 泥出し	20,888,894
〃 炊き出し	2,284,999
〃 漁業支援	4,106,775
コミュニティ支援 計	57,698,443
〃 仮設住宅コミュニティ	27,924,196
〃 既存コミュニティ	29,774,247
学校への楽器支援	17,233,088
漁業支援 計	68,260,685
〃 漁具（フォークリフト、ウィンチ等）	47,282,797
〃 漁網（漁網原材料、コミュニティによる製作費）	20,977,888
漁業協同組合女性部への支援	622,852
商店街再興（おしかのれん街小規模事業）支援	73,782,753
その他事業費	4,462,033
管理費	71,333,298
助成金返還予定金	42,462,290
計	995,001,430



